

メインフレームとワークステーション

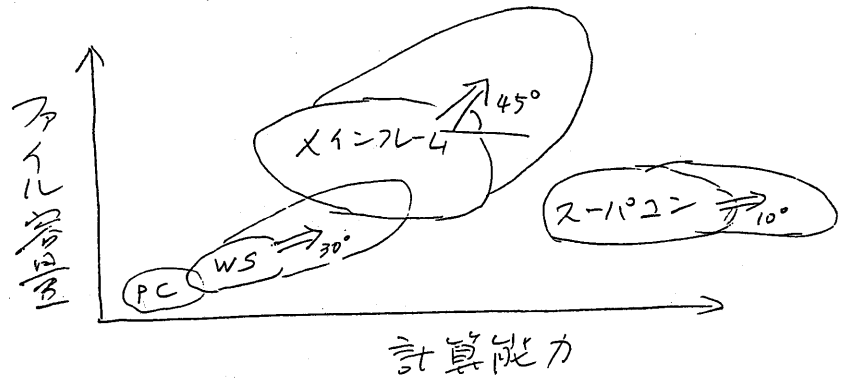
小尾 優三 (日本電気)

① WSとメインフレームとスーパーコンピュータの位置付け

WS: 個人環境

メインフレーム: 共用環境

スーパーコンピュータ: 大規模計算環境



メインフレームに最終的に残るもの

大規模DB

トランザクション処理

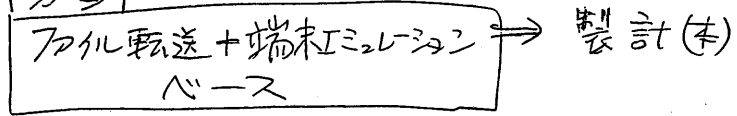
② 三者の共存とシステムとしての統合

マイクロ - メインフレーム - スーパーリンク

MMLから MMSLへ

③ マイクロ-メインフレームリンクの例

・O/A分野



・ソフトウェア ⇒ 例 -

④ OS

①の位置付けに合ったOS

・WS → MS-DOS系 (TRON)
UNIX

・Xインフル → ACOS
IBM流

・ス-110 → { Xインフル-4 OSの特化
| UNIX

⑤ ネットワーク → OSI化による互換性
相互接続性

⇒ IANA技術局